

# 持続可能な地域社会の実現をめざして

今、岩手県では地域を「持続可能な社会」に変えていくために環境問題に取り組んできた諸団体や行政が手を結び連携を強め始めています。一方、岩手大学では、地域に開かれた大学をめざして地域社会との連携に取り組んでおり、さらに、全学共通教育のすべてに「持続可能な開発のための教育(ESD)」を織り込んでいくことを検討しています。

そこで、持続可能な地域社会をめざして、市民の取り組みと大学の教育が共鳴し合う関係を作るために、地域ミーティングを大学と地域が協働で開催します。講師には、国内でのESDを推進する民間ネットワーク団体「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議(ESD-J)を招き、“未来をつくる教育”をかたちづくる試みや、地域での事例について紹介していただきます。

行政の職員、学校の先生、NPOや地域で活動する方、企業で環境や地域貢献に関わる方、大学の教職員・学生など、幅広い方々の参加を期待しています。

ESDとは、“Education for Sustainable Development”の略です

## 第1部 地域におけるESDと市民参加(特に学校との連携)

と き：10月20日(木)午後6時～8時30分

ところ：岩手大学学生センター棟3F G36教室 (定員：50名)

2002年ヨハネスブルグサミットからの流れ、そして地域での動き、特に学校との連携についての話題提供の後、ここ岩手ではどのような団体が活動しているか、意見交換します。

話題提供：村上千里(ESD-J事務局長)

森 良(ESD-J理事/エココミュニケーションセンター)

池田満之(ESD-J理事/岡山ユネスコ協会)

## 第2部 大学におけるESDと地域貢献

と き：10月21日(金)午前10時～12時

ところ：岩手大学教育学部1号館 202号講義室

ESDについて、大学と地域が連携して進めている事例、岩手大学で目指していることについて紹介していただきます。

話題提供：池田満之(ESD-J理事)/玉 真之介(岩手大学)

第1部だけ、第2部だけの参加も可能です。

参加費：無料

申込・問合せ：第1部：なるべく事前申込(名前・所属・連絡先をFAXまたはメールで)

/環境パートナーシップいわて 担当：梶原 FAX：019-621-6556

e-mail：skaji@iwate-u.ac.jp

第2部：事前申込は不要/岩手大学(Tel：019-621-6091、mail：ouchi@iwate-u.ac.jp)

**主催：NPO法人環境パートナーシップいわて/国立大学法人岩手大学**

共催：「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議(ESD-J) <http://www.esd-j.org/>

後援：岩手県、岩手県教育委員会、岩手県教育研究ネットワーク(IEN)、いわてネットワークシステム(INS)、エネルギー環境教育研究会、環境情報ネットワーク研究会、その他報道各社(予定)